

**沖縄県版キャリア・パスポート（例示資料）**

**中 学 校**

**（指導者用）**

## 中学生のみなさんへ

みなさんか  
ら、豊かな  
い生き方へ

生徒向けに記述していますが、保護者にも共通理解してもらえよう、キャリア・パスポートのねらいや育成したい力を伝えています。各ページを記入する時には、本ページに立ち戻って、基礎的・汎用的能力を意識することができるようにしましょう。

と協働しなが  
ら、自分らし  
。

《中学生生活でさらに伸ばしてほしい4つの力》

### 【人間関係形成・社会形成能力】

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

《例》

他者の個性を理解する力、他者に働きかけコミュニケーション・スキル、チームワーカーシップなど

### 【自己理解・自己管理能力】

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

「4つの力」の解説には、難しい言葉も含まれるため、生徒の実態に合わせ、どのような力を伸ばせばよいのか、一人ひとりの生徒が具体的なイメージをもてるように、支援する必要があります。

### 【課題対応能力】

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力

《例》

情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など

### 【キャリアプランニング能力】

「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

《例》

学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの力を伸ばし、自ら成長させることを意識してほしいと思います。

そして、この「キャリア・パスポート」で、中学生生活を振り返ったり見通したりしながら、学びの軌跡を記録し、積み重ねていくことが、みなさんの今後の人生を創っていくための「道しるべ」になることを願っています。

# 〇〇中学校のみなさんへ

〇〇中学

地域や学校の実態に合わせてメッセージを加えます。項目の順番・内容については必ずしもこの限りではありません。

中学校生活における成長を思い描き、楽しみにすることができるように、温かいメッセージを送りましょう。

学校の教育目標をふまえ、〇〇中学校の生徒として、卒業までに身に付けてほしい力を具体的に示すことで、生徒・教職員・保護者・地域での共通理解を図ります。

## キャリア・パスポートを作成するねらい

〇〇中学校でのキャリア・パスポートの活用方法やねらいなどを明確に示します。学んだことや生活を振り返る意義や、PLAN（計画）・DO（実行）・CHECK（評価）・ACTION（改善）のサイクルで見通しをたてる習慣の必要性などを伝えます。

## 生徒たちへのメッセージ

このページ全体が生徒へのメッセージとなりますが、ここでは、各学年で身に付けてほしい力等を段階的に整理して具体的に表したり、中学校生活で特に大切にしてほしいことを伝えたりするなど、上記以外にも生徒に伝えたい内容をメッセージとして送ります。

〇〇年 4 月  
 〇〇中学校 校長 ▲▲ ▲▲

## 沖縄県版「キャリア・パスポート」の各シートについて

沖縄県版「キャリア・パスポート」は、各学年複数枚のシートで構成されていますが、学校の実態（強みや弱み）に基づき、いくつかのシートを選択したり、シートの内容及び構成を加工修正することができます。学校の創意工夫を生かして下さい。

### (1) ○年生のみなさんへ ～学級・学年・学級の目標を書く

まずは、学校、学年、学級の目標に込められた願いを意識することから始めます。

そのために、学校、学年、学級の目標を記入します。

「キャリア・パスポート」

### (2) 中学○年生 学年初め～自分の目標と具体的な努力目標を設定しよう～

自分自身の良さやがんばってきたこと、将来なりたい自分などについて記述します。

さらに、そのためにつたけい力、具体的に努力すべきことについて記述します。

「キャリア・パスポート」

### (3) 家庭学習振り返りシート ～立てた目標を継続するために記録しよう～

目標を達成するためには、その実現に向けた努力を続けることが大切です。

このシートは家庭学習を継続するための記録や振り返りを行うシートですが、部活動や習い事などにも応用できます。努力が継続できるよう学級で、または個々で工夫して活用してください。

「ワーキングパスポート」



## 沖縄県版「キャリア・パスポート」の各シートについて（行事用）

沖縄県版「キャリア・パスポート」は、各学年複数枚のシートで構成されていますが、学校の実態（強みや弱み）に基づき、いくつかのシートを選択したり、シート内容及び構成を加工修正することができます。学校の創意工夫を生かして下さい。

### 体験活動（職場体験活動）

中行-1

※ 本様式は教科であり、学校で活用している様式の形式があれば、そちらを適用してください。

**体験活動（職場体験活動）**

記入日	年	月	日
職場体験活動のねらい			
「働くこと」についての今の考え「働く」ということとは、どのようなイメージや考えをもっているか			
職場体験活動前			
職場体験活動を通して学ぶこと（なぜ、自分は職場体験活動を行うのか・経験したいこと）			
自分の課題（学ばせたい・伸ばしたい自分のよき・知りたいこと）			
職場体験活動後			
職場体験活動で、楽しかったこと・印象がついたこと			
職場体験活動で、楽しかったこと・うまくいかなかったこと			
職場体験活動を通して、自分の伸ばせたいところ・新しく発見できたこと			
「働くこと」についての今の考え（体験を通してどのように考えが変わったか・変わったなかったか）			
職場体験活動を通して、これからの自分の進路や将来について考えていること			
お世話になった方や保護者からのメッセージ			
先生からのメッセージ		メッセージを読んで考えたこと	

-18-

#### 「キャリア・パスポート」

#### 【記述内容】

行事のめあてを立て、がんばることを具体的に記述し、振り返りまで行う。

### 学校行事等（〇〇について）

中行-2

※ 本様式は教科であり、学校で活用している様式の形式があれば、そちらを適用してください。

**学校行事等（〇〇について）**

記入日	年	月	日
（事前）			
〇〇での目標（自分の役割など）			
そう思った理由			
目標を達成するために準備すること			
（事後）			
目標を達成するために、がんばったこと			
心に残っていること			
自分が成長したと思うこと			
今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと			
先生からのメッセージ		メッセージを読んで考えたこと	

-19-

#### 「キャリア・パスポート」

「キャリア・パスポート」をサポートする「家庭学習振り返りシート」の活用について

## ○「キャリア・パスポート」は異学年、異校種をつなぐ

「キャリア・パスポート」は、子供たちの夢の実現に向けて、小学校 6 年間、中学校 3 年間、高校 3 年間をつないでいく取組です。

年度当初に学期の目標や年間の目標を決めて学期ごとに「振り返り」を行い、「キャリア・パスポート」にファイリングします。その記録を積み上げることで、自己のキャリア形成の足跡を振り返ることができると同時に、さらに未来への展望を描くことができると考えています。

## ○「振り返りシート」は「キャリア・パスポート」の取組の間をつなぐ

しかし、「キャリア・パスポート」の取組だけでは、目標に向けて取り組んだことについて振り返るのは、学期 1 回程度になります。

それだけでも効果はありますが、「設定した目標」に向けて、努力の継続を意識させるためには、学期ごとの振り返りだけでなく、もう少し短い単位の振り返りを継続することが、効果的だと考えます。

中学生は特に、夢や目標を実現するためにも、主体的・計画的に学習する力をつけることが重要で、努力を継続することで「自己理解力」「課題解決力」「タイムマネジメント力」が向上し、それが、卒業後にも役立つ能力となることが期待できます。

次のページに資料として掲載されている「家庭学習振り返りシート」は、中頭地区の美里中学校で活用されているシートです。毎日、帰りの会で、前日の家庭学習を振り返る機会を持ち、帰宅後の家庭学習を意識させる取り組みです。最低学習時間（自分との約束）を意識して学習し、目指す進路実現に向けた理想の学習時間に向けて、主体的に学習できる力を育成することをねらって取り組んでいます。ここに示したシートは、あくまで例示です。各学校の実態に合った振り返りシートを工夫してみてください。

## ○ファイリングして次学年につなぐ必要はありません

※このシートはあくまで「キャリア・パスポート」の間をつなぐ取組であり、ファイリングして次学年につなぐ必要はありません。（年間で書き綴ったシートの中から印象的なシートを 1 枚程度ファイリングすることはあってもいいかもしれません）



## 1年生のみなさんへ

今、みなさんは、新しい環境で中学校での学習や生活に対する期待と不安でいっぱいでしょう。中学校の3年間は、外見上の変化だけでなく、精神的にも大きく成長していくなかで、多くのことを学び、経験していく大切な時期です。

この「キャリア・パスポート」では、みなさんが充実した学校生活を送るために、日々の生活や地域のこと、「学ぶ」ということや「自分を知る」こと、将来の夢や進路について、中学校3年間を通して各学年で活用できるように作られています。

この機会を活用して、生涯にわたってよりよく生きることができるような能力や態度を意識して、多くのことに挑戦し、将来に対する目的意識を高めていきましょう。

そのためにまず、学校・学年・学級の目標に込められた願い（君たちにつけて欲しい力）を理解することからはじめていきます。

**学校教育目標を書こう。**（学校教育目標は君たちにつけてほしい力を示しています。）

必ずしも「学校教育目標」でなくてもよいです。現在、学校で力を入れて取り組んでいる「重点目標」や「スローガン」「校訓」等、学校が生徒につけてほしいと願っていることを記入させてください。

ただし、学校全体で目指すものなので、何を記入させるかは、学校で統一して下さい。

**1学年目標を書こう。**（1年生でつけてほしい力が示されています。）

**学級目標を書こう。**（さらに学級で毎日意識して取り組むことが示されています。）



中学校での最初のパスポート記入です。新たな気持ちで意欲的に学びに向かえるよう支援しましょう。

## 中学 1 年生 学年初め

### ○今の自分を見つめて

記入日 年 月 日

今の自分（自分の好きなこと・もの、得意なこと・もの、頑張っていることなど）

私の自己PR（自分のよいところ）

・表紙裏の「伸ばしてほしい4つの力」も意識して考えさせましょう。

・小学校キャリア・パスポート活用して、自分を肯定的に捉えて記入できるように支援します。記入できない生徒へは、例示を示すなどの個別に支援を行い、無理にすべてを埋めさせる必要はありません。

こんな大人になりたい（将来の夢）

【記入例】・「看護師」（職業）になりたい。

「〇〇な大人になりたい」と記入してもよいので、「そのためにつきたい力」を考えさせます。

そのために、つきたい力

【記入例】・人の気持ちを理解し、思いやりを持って人に接する力、すべきことに素早く取り組める力をつけたい。（命を預かる仕事だから）

### ○なりたい自分になるために身につけたいこと（目標）とそのために取り組むこと

学習面（授業態度・家庭学習含む）

・〇〇高校合格を考え5教科合計430点以上・席次50番以内を目指す

目指す進路・成績・席次・得点・授業態度・積極的な発表・提出物、また特に力を入れたい教科等も考えさせましょう。

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

【記入例】最低30分は家庭学習に取り組み、できれば60分以上頑張りたい。授業での発表も頑張りたい。そのために家庭学習の記録・授業態度振り返り等を毎日記録して、意識して取り組みたい。【家庭学習の記録から続けるための工夫を考えさせる学習と関連させると効果高い】

生活面（行事・生徒会・係・当番活動含む）

・5分前行動ができるようになる  
・当番活動を協力して毎日頑張る  
・あいさつを積極的に頑張る  
・合唱コンクールで学級の団結を高める

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

【記入例：行事】→合唱コンクールでの金賞をとるために、からチームワークを意識して学級で協力していきたい。他にもリーダーとして学級を引っ張っていきたい。

部活動・ボランティア

・大会でベスト4に入る

そのために続ける努力

【具体的な行動の継続がカギ】  
具体的な行動を書くことで取り組みやすくなり、努力し続けることが夢や目標の実現につながっていくのだ、ということに気づくチャンスにもなります。  
●具体的に記述できない場合は決意でも構いません。一つに絞って書いても構いません。

家庭地域・習い事・資格取得

・毎日家の手伝いを忘れずやる  
・地域行事に協力する  
・英検3級に挑戦する。

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

できれば、学習面の【記入例】のように、毎日できる取り組みや、努力を続けるための具体的な工夫について考えさせましょう。  
●具体的に記述できない場合は決意でも構いません。記入例参照

先生からのメッセージ

・一番身近な大人である教員や保護者から認められるメッセージは生徒にとって励みになります。自分の中に新たな可能性を見出したり、自尊感情や自己有用感を高めたりすることにつながります。  
・保護者へは、メッセージ記入の意義を説明し、生徒が取り組もうとしていることを家庭と共有し、認めてもらうことが大切です。（工夫例）学年便り等での趣旨説明と依頼・家庭訪問時に依頼など

# 家庭学習振り返りシート

●中学を卒業して平均で65年以上も生活します。楽しく充実した生活をするためには進路の選択が大きな力を握ります。毎日自分で計画を立てて、自分で学習できる力は、将来希望する進路を実現するため・自分の人生を切り拓くための大きな力になります。理想時間と最低学習時間をしっかり設定して、下の評価基準のA、Bを目指して頑張ってください！

○理想時間（将来を考え、本当はこのくらい、毎日勉強すべきだと考えている時間）	→（ 90 ）分
○最低学習時間（毎日、最低頑張りたいと考えている時間＝毎日の自分との約束）	→（ 30 ）分

月日	項目・時間	英語	数学	国語	理科	社会	その他	勉強時間合計	塾などの時間	生徒コメント
月 ／	項 目 時 間	宿題 20分				宿題 20分	自学自習 30分	70分		30分以上で きたので90 分できるよう に頑張りたい
	学習内容	単語の練習				社会のノ ートまとめ	家庭科の 予習			
火 ／	項 目 時 間							0分	英語・数学 120分	塾だったので 勉強しなかつ た。30分頑 張りたい。
	学習内容								入試問題の 演習・解説	
水 ／	項 目 時 間	塾の宿題 40分	宿題 30分	自学自習 20分				90分		理想時間の 90分勉強す ることができ た。
	学習内容	プリント 2枚	一次関数の プリント	漢字の練習						
木 ／	項 目 時 間							0分		疲れたので早 く寝た。30 分でできなかった。 悔しい
	学習内容									
金 ／	項 目 時 間		自学自習 60分					60分		昨日早く寝た ので朝5時に 起きて頑張っ た。
	学習内容		問題集で勉 強							
土 ／  日 ／	<p>○最低学習時間＝自分との約束→自分で決めたことを守る努力を続けると大きな自信になります。また「自己理解力」「課題解決力」の向上にもつながります。</p> <p>○理想時間→志望する高校や目標の得点・席次を考えて毎日挑戦することが、夢や希望を実現し、人生を切り拓く大きな力になります。</p> <p>○毎日「自学自習（自分で考えて取り組んだ学習）」「宿題」「塾の宿題」などの項目と時間をしっかり記入させ最低学習時間や理想学習時間・評価A・Bを意識させることで、生徒の目標実現への目的意識向上につながります。</p>									
合計時間		英語 60分	数学 90分	国語 20分	理科 0分	社会 0分	その他 30分	<b>1週間の学習時間と評価</b> (塾の時間は含めない)		
評価基準	A→宿題や自学自習に工夫して丁寧に取り組み、理想時間に近い時間取り組んだ B→宿題や自学自習に工夫して取り組み、毎日最低学習時間以上取り組んだ C→宿題や自学自習に取り組み、平均すると最低学習時間以上取り組んでいる D→宿題はだいたい提出できた      E→あまり学習に取り組めなかった							合計時間	220分	
								評価	A～Eから選択し記入	C
1週間 の 振り返り	あいさつ→ ○をつける	立ち止まって大きな声で先手のあいさつできる 5      大きな声で先手のあいさつできる 4 先手（自分からすすんで）のあいさつができる 3      あいさつを返すことができる 2      できない 1								
	授業態度→ ○をつける	学校で決めた基準に沿って判断→ レベル 5      4      3      2      1								

# 

○今学期を振り返って

記入日 年 月 日

学期初めに身につけようと思ったことについて、自分の気持ちに一番近いところに○をつけよう	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
学習面で継続した努力や取り組みができた、または身につけようと思ったことが身についたと思う	・記入の際には、学期における主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があると良いでしょう。			
生活面で継続した努力や取り組みができた、または身につけようと思ったことが身についたと思う				
部活動・家庭や地域で継続した取り組みができた、または身につけようと思ったことが身についたと思う				
行事・習い事・資格取得などに継続的に頑張った、または身につけようと思ったことが身についたと思う				

○各項目の振り返り（成果・課題と新たな挑戦）・今後取り組むこと

学習面（授業態度・家庭学習含む）	今後取り組むことと、それを継続	・身につけようと思ったことが身についたかどうか自己評価することを通して自分自身の成長を実感することができるように促します。
生活面（行事・生徒会・係・当番活動含む）	今後取り組むことと、それを継続	
部活動・ボランティア	今後取り組む	・記入方法は「学年初め」に記入したやり方で記入する。 ・これからの抱負を考えることで、自分の良さをさらに伸ばしたいことや、自分が努力すること等を具体的に考えられるようにします。 ・新たな挑戦は、最初に決めた目標の改善プランや付け加えた目標などがあれば加えて記入させてください。
家庭地域・習い事・資格取得	今後取り組むこと	

今学期を振り返って、頑張ったこと、成長したこと、気付いたこと

・キャリア発達（表紙裏の「伸ばしてほしい4つの力」が向上していくこと）につながる学習等を振り返ることで、自分の将来や働くことの大切さ、大変さややりがい等を改めて見つめ直すことが大切です。

先生からのメッセージ

保護者などからのメッセージ

・今学期頑張ったことを具体的に認めほめるとともに、次の学期の目標に向けて、励まし勇気づける記述が大切です。

中学1年生 学年末

1年間の自分の成長を見つめ、来年度への自己成長や学習・生活意欲につなげる大切な機会としましょう。

各学校の生徒の実態に合わせ、設問を検討します。補足説明の必要がある場合は、丁寧に行いましょう。

○この1年間を振り返って、成長できたと思うこととその理由	月	日
自分の気持ち	ほとんどしていない	ほとんどしていない
① 友達や家の人の意見を聞く時、その人の意見を受け止めたか。		
② 1年間の主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があったか。		
③ 自分や周りの人との力を合わせ、目標達成や気持ちよく過ごす工夫をしたか。		
④ 自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとしていましたか。		
⑤ あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしましたか。		
⑥ 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしましたか。		
⑦ 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集しましたか。		
⑧ 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができましたか。		
⑨ 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えましたか。		
⑩ 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。		
⑪ 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えましたか。		
⑫ 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力しましたか。		

・身につけようと思ったことが身についたかどうかを振り返り、自己評価させます。  
結果を数値化することで、学校におけるキャリア教育の指導改善にも役立てることができそうです。

○この1年間を振り返って、頑張ったこと（成長できたと思うこと）とその理由

学習面（授業態度・家庭学習含む）	なぜ
生活	・生徒自身が具体的な場面を思い起こしながら、自分の成長を実感することができるようになります。
部活動	・自分の成長を見取り、その理由を考えることで自分自身を深く振り返り、次年度の成長や意欲につなげることができるように、じっくり考えさせることが大切です。
その他	・記入できない生徒への支援を行う必要があります。 （工夫例）教師や友達からの他者評価を参考にさせる 教師が見取った成長やその理由について、言葉かけを行いながら、生徒自身が自分の成長に気づくことができるようする。
	・無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないよう配慮が必要です。
	・頑張れなかったことがあれば、その理由についても整理させると良いでしょう。

## ○なりたい自分になるために身についたと思う力と、その理由

身についたと思う力	理由
	<p>・具体的な場面を思い起こしながら、客観的に振り返ることができるようにします。</p>

## ○2年生になる自分への応援メッセージ

<p>・2年生でのなりたい自分をイメージさせて、前向きな思いを記入できるようにします。</p>
---

## ○卒業する時の自分（15歳の私）を想像しよう

卒業するときに、どんな自分になっていたいか	<p>・中学校卒業時の自分をイメージして、自分の良さを伸ばしたいことや、克服したいことを考えさせます。</p> <p>（工夫例）卒業式での先輩の言葉や様子を紹介する 15歳の卒業時の姿を紹介する など</p>
15歳のあなたが選んでいる道（進路）	
そう思った理由やきっかけ	<p>・進路・将来の夢・職業・大切にしたいこと・挑戦したいことなど、さまざまな角度からの記入を認めましょう。</p>
15歳でなりたい自分に近づくために、今、頑張りたいこと	<p>・自分の進路を考え、今何をすべきなのか、大切にしたいことや努力したいことを記入することができるよう促します。</p>

先生からのメッセージ	保護者などからのメッセージ
<p>・1年間、生徒の成長を身近で見取ってきた大人の一人として、次年度に向け、更なる成長を心から期待して記入します。生徒の考えを日頃の行動をつなげて、肯定的な言葉で伝えましょう。短いメッセージでもかまいません。</p>	

## 2 年生のみなさんへ

中学生になって早くも 1 年がすぎ、いよいよ 2 年生としての生活がはじまりました。2 年生は中学校生活も 2 年目に入り、学校でのようすもよくわかってきたので、授業をはじめ、学級での活動、生徒会活動、学校行事、部活動など。これまで以上に積極的に活動しやすい時期でもあります。

1 年のときの学校生活や「キャリア・パスポート」を振り返り、卒業後の進路や将来設計について、一歩踏み込んだ目標を立てていきましょう。

さらに、この機会を活用して、生涯にわたってよりよく生きることができるよう能力や態度を意識して、多くのことに挑戦し、将来に対する目的意識を高めていきましょう。

そのために今年度も、学校・学年・学級の目標に込められた願い（君たちにつけて欲しい力）を再確認することからはじめていきます。

**学校教育目標を書こう。**（学校教育目標は君たちにつけてほしい力を示しています。）

必ずしも「学校教育目標」でなくてもよいです。現在、学校で力を入れて取り組んでいる「重点目標」や「スローガン」「校訓」等、学校が生徒につけてほしいと願っていることを記入させてください。

ただし、学校全体で目指すものなので、何を記入させるかは、学校で統一して下さい。

**2 学年目標を書こう。**（2 年生でつけてほしい力が示されています。）

**学級目標を書こう。**（さらに学級で毎日意識して取り組むことが示されています。）



新しい学年での最初のパスポート記入です。新たな気持ちで意欲的に学びに向かえるよう支援しましょう。

## 中学 2 年生 学年初め

### ○今の自分を見つめて

記入日 年 月 日

今の自分（自分の好きなこと・もの、得意なこと・もの、頑張っていることなど）

私の自己PR（自分のよいところ）

・表紙裏の「伸ばしてほしい4つの力」も意識して考えさせましょう。

・小学校キャリア・パスポート活用して、自分を肯定的に捉えて記入できるように支援します。記入できない生徒へは、例示を示すなどの個別に支援を行い、無理にすべてを埋めさせる必要はありません。

こんな大人になりたい（将来の夢）

【記入例】・「看護師」（職業）になりたい。

「〇〇な大人になりたい」と記入してもよいので、「そのためにつきたい力」を考えさせます。

そのために、つきたい力

【記入例】・人の気持ちを理解し、思いやりを持って人に接する力、すべきことに素早く取り組める力をつけたい。（命を預かる仕事だから）

### ○なりたい自分になるために身につけたいこと（目標）とそのために取り組むこと

学習面（授業態度・家庭学習含む）

・〇〇高校合格を考え5教科合計430点以上・席次50番以内を目指す

目指す進路・成績・席次・得点・授業態度・積極的な発表・提出物、また特に力を入れたい教科等も考えさせましょう。

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

【記入例】最低30分は家庭学習に取り組み、できれば60分以上頑張りたい。授業での発表も頑張りたい。そのために家庭学習の記録・授業態度振り返り等を毎日記録して、意識して取り組みたい。【家庭学習の記録から続けるための工夫を考えさせる学習と関連させると効果高い】

生活面（行事・生徒会・係・当番活動含む）

・5分前行動ができるようになる  
・当番活動を協力して毎日頑張る  
・あいさつを積極的に頑張る  
・合唱コンクールで学級の団結を高める

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

記入例：行事→合唱コンクールでの金賞をとるために、日ごからチームワークを意識して学級で協力していきたい。そのもリーダーとして学級を引っ張っていきたい。

部活動・ボランティア

・大会でベスト4に入る

そのために

【具体的な行動の継続がカギ】

具体的な行動を書くことで取り組みやすくなり、努力し続けることが夢や目標の実現につながっていくのだ、ということに気づくチャンスにもなります。  
●具体的であれば、箇条書きでも構いません。一つに絞って書いても構いません。

家庭地域・習い事・資格取得

・毎日家の手伝いを忘れずやる  
・地域行事に協力する  
・英検3級に挑戦する。

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

できれば、学習面の【記入例】のように、毎日できる取り組みや、努力を続けるための具体的な工夫について考えさせましょう。  
●具体的に記述できない場合は決意でも構いません。記入例参照

先生からのメッセージ

・一番身近な大人である教員や保護者から認められるメッセージは生徒にとって励みになります。自分の中に新たな可能性を見出したり、自尊感情や自己有用感を高めたりすることにつながります。  
・保護者へは、メッセージ記入の意義を説明し、生徒が取り組もうとしていることを家庭と共有し、認めてもらうことが大切です。（工夫例）学年便り等での趣旨説明と依頼・家庭訪問時に依頼など



# 家庭学習振り返りシート

●中学を卒業して平均で65年以上も生活します。楽しく充実した生活をするためには進路の選択が大きな力を握ります。毎日自分で計画を立てて、自分で学習できる力は、将来希望する進路を実現するため・自分の人生を切り拓くための大きな力になります。理想時間と最低学習時間をしっかり設定して、下の評価基準のA、Bを目指して頑張ってください！

○理想時間（将来を考え、本当はこのくらい、毎日勉強すべきだと考えている時間）	→（ 90 ）分
○最低学習時間（毎日、最低頑張りたいと考えている時間＝毎日の自分との約束）	→（ 30 ）分

月日	項目・時間	英語	数学	国語	理科	社会	その他	勉強時間合計	塾などの時間	生徒コメント
月 ／	項 目 時 間	宿題 20分				宿題 20分	自学自習 30分	70分		30分以上で きたので90 分できるよう に頑張りたい
	学習内容	単語の練習				社会のノ ートまとめ	家庭科の 予習			
火 ／	項 目 時 間							0分	英語・数学 120分	塾だったので 勉強しなかつ た。30分頑 張りたい。
	学習内容								入試問題の 演習・解説	
水 ／	項 目 時 間	塾の宿題 40分	宿題 30分	自学自習 20分				90分		理想時間の 90分勉強す ることができ た。
	学習内容	プリント 2枚	一次関数の プリント	漢字の練習						
木 ／	項 目 時 間							0分		疲れたので早 く寝た。30 分でできなかった。 悔しい
	学習内容									
金 ／	項 目 時 間		自学自習 60分					60分		昨日早く寝た ので朝5時に 起きて頑張っ た。
	学習内容		問題集で勉 強							
土 ／  日 ／	<p>○最低学習時間＝自分との約束→自分で決めたことを守る努力を続けると大きな自信になります。また「自己理解力」「課題解決力」の向上にもつながります。</p> <p>○理想時間→志望する高校や目標の得点・席次を考えて毎日挑戦することが、夢や希望を実現し、人生を切り拓く大きな力になります。</p> <p>○毎日「<u>自学自習（自分で考えて取り組んだ学習）</u>」「宿題」「塾の宿題」などの項目と時間をしっかり記入させ最低学習時間や理想学習時間・評価A・Bを意識させることで、生徒の目標実現への目的意識向上につながります。</p>									
合計時間		英語 60分	数学 90分	国語 20分	理科 0分	社会 0分	その他 30分	<b>1週間の学習時間と評価</b> (塾の時間は含めない)		
評価基準	A→宿題や自学自習に <u>工夫</u> して丁寧に取り組み、理想時間に近い時間取り組んだ B→宿題や自学自習に <u>工夫</u> して取り組み、毎日最低学習時間以上取り組んだ C→宿題や自学自習に取り組み、平均すると最低学習時間以上取り組んでいる D→宿題はだいたい提出できた      E→あまり学習に取り組めなかった							合計時間	220分	
								評価	A～Eから選択し記入	C
1週間 の 振り返り	あいさつ→ ○をつける	立ち止まって大きな声で先手のあいさつできる 5      大きな声で先手のあいさつできる 4 先手（自分からすすんで）のあいさつができる 3      あいさつを返すことができる 2      できない 1								
	授業態度→ ○をつける	学校で決めた基準に沿って判断→ レベル 5      4      3      2      1								

# 

</

中学2年生 学年末

1年間の自分の成長を見つめ、来年度への自己成長や学習・生活意欲につなげる大切な機会としましょう。

各学校の生徒の実態に合わせ、設問を検討します。補足説明の必要がある場合は、丁寧に行いましょう。

月 日

○この1年間を振り返る

自分の気持ちや生活の様子を振り返る

ほとんどしていない

① 友達や家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めたか。				
② 記入の際には、1年間の主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があると良いでしょう。				
③ 振り返る際に、先生や友達からのサポートやアドバイスを求めたか。				
④ 振り返る際に、先生や友達からのサポートやアドバイスを求めたか。				
⑤ あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしましたか。				
⑥ 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしましたか。				
⑦ 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集しましたか。				
⑧ 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができましたか。				
⑨ 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えましたか。				
⑩ 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。				
⑪ 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えましたか。				
⑫ 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力しましたか。				

○この1年間を振り返る

学習面

生活

部活動

その他

・記入の際には、義務教育最後の1年を迎えようとしていることを、生徒と共有しましょう。

・生徒自身が2年生での具体的な場面を思い起こしながら、自分の成長を実感することができるようにします。

・自分の成長を見取り、その理由を考えることで自分自身を深く振り返り、次年度の成長や意欲につなげることができるように、じっくり考えさせることが大切です。

・記入できない生徒への支援を行うことが必要です。

（工夫例）教師や友達からの他者評価を参考にさせる

教師が見取った成長やその理由について、言葉かけを行いながら、生徒自身が自分の成長に気づくことができるようにする。

・無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないよう配慮が必要です。

・頑張れなかったことがあれば、その理由についても整理することができるよう支援します。

・3年生でなりたい自分や30歳の自分に生かせるように促します。

## ○なりたい自分になるために身についたと思う力と、その理由

身についたと思う力	理由
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場面を思い起こしながら、客観的に振り返ることができるようにします。</li> </ul>

## ○3年生になる自分への応援メッセージ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい3年生としての、なりたい自分をイメージさせて、前向きな思いを記入できるようにします。</li> </ul>
---

## ○将来の自分（30歳の私）を

30歳のとき、どんな自分になるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30歳の将来の自分をイメージして、自分の良さで伸ばしたいことや克服したいことを考えさせます。</li> <li>（工夫例） <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にとって「30歳」がイメージしにくい可能性もあるので、何人かの「30歳」を紹介する</li> <li>・30歳の先輩のお話を聞く活動 など</li> </ul> </li> </ul>
そんな30歳のあなたがして欲しいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例示する際には、イメージが固定化したり、一つの生き方を評価したりするものとならないよう、配慮が必要です。性別や職業、生き方など生徒の視野を広げることができるようにします。</li> </ul>
そう思った理由やきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・将来の夢・職業・大切にしたいこと・挑戦したいことなど、さまざまな角度からの記入を認めましょう。</li> </ul>
そのために、どんなことをしたらよいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の進路を考え、今何をすべきなのか、大切にしたいことや努力したいことを記入することができるよう促します。</li> </ul>

先生からのメッセージ	保護者などからのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間、生徒の成長を身近で見取ってきた大人の一人として、次年度に向け、更なる成長を心から期待して記入します。生徒の考えを日頃の行動をつなげて、肯定的な言葉で伝えましょう。短いメッセージでもかまいません。</li> </ul>	

## 3年生のみなさんへ

いよいよ中学3年生です。義務教育を締めくくるまとめの1年でもあり、次へのステップに向けて準備を進める1年でもあります。

残り1年間の学校生活を精一杯取り組み、十分な成果をあげられるように、進路学習においても真剣に取り組み、適切な進路選択ができるようにしたいものです。

すべての学習や体験を実りあるものにするために、今までの「キャリア・パスポート」を振り返り、自分の足跡を見つめ、自分の可能性を信じ、将来の夢や希望の実現を目指し頑張ってください。

今年度も、学校・学年・学級の目標に込められた願い（君たちにつけて欲しい力）を再確認からスタートし、最上級生としての自覚を持って、下級生の模範となるよう、目的意識を持って自己を成長させていきましょう。

**学校教育目標を書こう。**（学校教育目標は君たちにつけてほしい力を示しています。）

必ずしも「学校教育目標」でなくてもよいです。現在、学校で力を入れて取り組んでいる「重点目標」や「スローガン」「校訓」等、学校が生徒につけてほしいと願っていることを記入させてください。

ただし、学校全体で目指すものなので、何を記入させるかは、学校で統一して下さい。

**3学年目標を書こう。**（3年生でつけてほしい力が示されています。）

**学級目標を書こう。**（さらに学級で毎日意識して取り組むことが示されています。）

義務教育最後の1年であり、進路を切り拓く1年です。決意を持って学びに向かえるよう支援しましょう。

## 中学3年生 学年初め

### ○今の自分を見つめて

記入日 年 月 日

今の自分（自分の好きなこと・もの、得意なこと・もの、頑張っていることなど）

私の自己PR（自分のよいところ）

・表紙裏の「伸ばしてほしい4つの力」も意識して考えさせましょう。

・小学校キャリア・パスポート活用して、自分を肯定的に捉えて記入できるように支援します。記入できない生徒へは、例示を示すなどの個別に支援を行い、無理にすべてを埋めさせる必要はありません。

こんな大人になりたい（将来の夢）

【記入例】・「看護師」（職業）になりたい。

「〇〇な大人になりたい」と記入してもよいので、「そのためにつけない力」を考えさせます。

そのために、つけない力

【記入例】・人の気持ちを理解し、思いやりを持って人に接する力、すべきことに素早く取り組める力をつけたい。（命を預かる仕事だから）

### ○なりたい自分になるために身につけたいこと（目標）とそのために取り組むこと

学習面（授業態度・家庭学習含む）

・〇〇高校合格を考え5教科合計430点以上・席次50番以内を目指す

目指す進路・成績・席次・得点・授業態度・積極的な発表・提出物、また特に力を入れたい教科等も考えさせましょう。

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

【記入例】最低30分は家庭学習に取り組み、できれば60分以上頑張りたい。授業での発表も頑張りたい。そのために家庭学習の記録・授業態度振り返り等を毎日記録して、意識して取り組みたい。【家庭学習の記録から続けるための工夫を考えさせる学習と関連させると効果高い】

生活面（行事・生徒会・係・当番活動含む）

・5分前行動ができるようになる  
・当番活動を協力して毎日頑張る  
・あいさつを積極的に頑張る  
・合唱コンクールで学級の団結を高める

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

【記入例：行事】→合唱コンクールでの金賞をとるために、日からチームワークを意識して学級で協力していきたい。その上にもリーダーとして学級を引っ張っていきたい。

部活動・ボランティア

・大会でベスト4に入る

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

【具体的な行動の継続がカギ】

具体的な行動を書くことで取り組みやすくなり、努力し続けることが夢や目標の実現につながっていくのだ、ということに気づくチャンスにもなります。

●具体的であれば、箇条書きでも構いません。一つに絞って書いても構いません。

家庭地域・習い事・資格取得

・毎日家の手伝いを忘れずやる  
・地域行事に協力する  
・英検3級に挑戦する。

そのために続ける努力（一つでもよいので具体的に）

できれば、学習面の【記入例】のように、毎日できる取り組みや、努力を続けるための具体的な工夫について考えさせましょう。

●具体的に記述できない場合は決意でも構いません。記入例参照

先生からのメッセージ

・一番身近な大人である教員や保護者から認められるメッセージは生徒にとって励みになります。自分の中に新たな可能性を見出したり、自尊感情や自己有用感を高めたりすることにつながります。

・保護者へは、メッセージ記入の意義を説明し、生徒が取り組もうとしていることを家庭と共有し、認めてもらうことが大切です。（工夫例）学年便り等での趣旨説明と依頼・家庭訪問時に依頼など



# 家庭学習振り返りシート

●中学を卒業して平均で65年以上も生活します。楽しく充実した生活をするためには進路の選択が大きな力を握ります。毎日自分で計画を立てて、自分で学習できる力は、将来希望する進路を実現するため・自分の人生を切り拓くための大きな力になります。理想時間と最低学習時間をしっかり設定して、下の評価基準のA、Bを目指して頑張ってください！

○理想時間（将来を考え、本当はこのくらい、毎日勉強すべきだと考えている時間）	→（ 90 ）分
○最低学習時間（毎日、最低頑張りたいと考えている時間＝毎日の自分との約束）	→（ 30 ）分

月日	項目・時間	英語	数学	国語	理科	社会	その他	勉強時間合計	塾などの時間	生徒コメント
月 ／  	項 目 時 間  学習内容	宿題 20分  単語の練習				宿題 20分 社会のノートまとめ	自学自習 30分 家庭科の予習	70分		30分以上できたので90分できるように頑張りたい
火 ／  	項 目 時 間  学習内容							0分	英語・数学 120分 入試問題の演習・解説	塾だったので勉強しなかった。30分頑張りたい。
水 ／  	項 目 時 間  学習内容	塾の宿題 40分 プリント 2枚	宿題 30分 一次関数のプリント	自学自習 20分 漢字の練習				90分		理想時間の90分勉強することができた。
木 ／  	項 目 時 間  学習内容							0分		疲れたので早く寝た。30分でできなかった。悔しい
金 ／  	項 目 時 間  学習内容		自学自習 60分 問題集で勉強					60分		昨日早く寝たので朝5時に起きて頑張った。
土 ／  	<p>○最低学習時間＝自分との約束→自分で決めたことを守る努力を続けると大きな自信になります。また「自己理解力」「課題解決力」の向上にもつながります。</p> <p>○理想時間→志望する高校や目標の得点・席次を考えて毎日挑戦することが、夢や希望を実現し、人生を切り拓く大きな力になります。</p> <p>○毎日「自学自習（自分で考えて取り組んだ学習）」「宿題」「塾の宿題」などの項目と時間をしっかり記入させ最低学習時間や理想学習時間・評価A・Bを意識させることで、生徒の目標実現への目的意識向上につながります。</p>									
合計時間		英語 60分	数学 90分	国語 20分	理科 0分	社会 0分	その他 30分	1週間の学習時間と評価 (塾の時間は含めない)		
評価基準	A→宿題や自学自習に工夫して丁寧に取り組み、理想時間に近い時間取り組んだ B→宿題や自学自習に工夫して取り組み、毎日最低学習時間以上取り組んだ C→宿題や自学自習に取り組み、平均すると最低学習時間以上取り組んでいる D→宿題はだいたい提出できた E→あまり学習に取り組めなかった							合計時間	220分	
								評価	A～Eから選択し記入	C
1週間 の 振り 返し	あいさつ→ ○をつける	立ち止まって大きな声で先手のあいさつできる 5      大きな声で先手のあいさつできる 4 先手（自分からすすんで）のあいさつができる 3      あいさつを返すことができる 2      できない 1								
	授業態度→ ○をつける	学校で決めた基準に沿って判断→ レベル 5      4      3      2      1								



# 

</

# 中学 3 年生 学年末

年 月 日

○この 1 年間

1 年間の自分の成長を見つめ、卒業後のさらなる成長や新しい進路先における意欲につなげる大切な機会としましょう。

自分の気持

各学校の生徒の実態に合わせ、設問を検討します。補足説明の必要がある場合は、丁寧に行いましょう。

あまり  
してい  
ない

ほとん  
どしてい  
ない

① 友達や家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。

記入の際には、1 年間の主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があると良いでしょう。

考えや気持ち

りの人と力を

握しようとし

・身につけようと思ったことが身についたかどうかを振り返り、自己評価させます。  
・結果を数値化することで、卒業後の目標設定の参考に、役立てることができます。  
・1・2 年生の時の様子と比較することで、成長をより実感することができます。

⑤ あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしましたか。

⑥ 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしましたか。

⑦ 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集しましたか。

⑧ 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができましたか。

⑨ 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えましたか。

⑩ 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。

⑪ 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えましたか。

⑫ 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力しましたか。

○この 1 年間で振り返って 頑張ったこと（成長できたと思うこと）とその理由

学習面

生活

部活

その他

- ・記入の際には、義務教育を終えようとしていることを、生徒と共有しましょう。
- ・生徒自身が 3 年生での具体的な場面を思い起こしながら、自分の成長を実感することができるようにします。
- ・自分の成長を見取り、その理由を考えることで自分自身を深く振り返り、今後の成長や意欲につなげることができるように、じっくり考えさせることが大切です。
- ・記入できない生徒への支援を行うことが必要です。  
(工夫例) 教師や友達からの他者評価を参考にさせる  
教師が見取った成長やその理由について、言葉かけを行いながら、生徒自身が自分の成長に気づくことができるようにする。
- ・無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないよう配慮が必要です。
- ・頑張れなかったことがあれば、その理由についても整理することができるよう支援します。
- ・将来の自分に生かせるように促します。

# 18歳の私へ～中学校3年間の振り返りとこれからへ～

( ) 中学校・氏名 ( ) ・記入日： 年 月 日

○中学校3年間で自分自身の頑張りと成長・よさ等について振り返ります。

① 3年間の振り返って、頑張ったこと・学んだことを書いてみましょう。

(1年生)	(2年生)	(3年生)
<p>・中学1・2年時のパスポートも活用して、自分の成長に気付く機会となるように支援します。</p> <p>・いじめや不登校等、振り返ることに配慮を要するケースもあります。生徒がどのような3年間の過ごし方をしてきたのか把握しておくことが重要です。</p>		

② 3年間を通して、成長したこと・できるようになったことを書いてみましょう。

<p>・今の自分を見つめ、3年間での成長を実感し、自己肯定感を高めて、将来の自分をイメージすることで、前向きに取り組むことができるようにします。</p>
--

③ あなたの「よさ」や「前向きになれること」を書いてみましょう。

※得意なこと・好きなこと・興味のあること・頑張れることなど

--

④ あなたの「よさ」を今後、どう生かし、どのように成長していきたいですか。

<p>・自分の成長を振り返ったうえで、将来のなりたい自分について、じっくり考えさせることが大切です。</p>
--

先生からのメッセージ

保護者などからのメッセージ

メッセージを読んで気づいたこと

1年間、生徒の成長を身近で見取ってきた大人の一人として、今後、新たな進路先における更なる成長を心から期待して記入しましょう。夢や目標に向かっていけるような視点で励ましの言葉を伝えます。短いメッセージでもかまいません。

※ 本様式は例示であり、学校で活用している既存の様式があれば、そちらを活用してください。

体験活動（職場体験活動）

（職場体験活動前）		記入日	年	月	日
職場	・体験活動の意義を高め、生徒の成長につながるものとするには、事前指導が重要となります。 ・教師が生徒に対して、本体験活動においてどのような経験や成長をすることを願っているのか、どのような意義のある学習なのか、丁寧に伝えた上で、記入させましょう。				
「働くこと」について					
職場体験活動先					
職場体験活動を通して学ぶこと（なぜ、自分は職場体験活動に参加したのか）					
自分の課題（生かしたい・伸ばしたい自分のよさ・知りたかったこと）					

体験活動先で、どんな力をつけたいのか、  
そのためにどのような活動をしたいのかを具  
体的に考え、記入できるように支援します。

・自分自身を見つめ、伸ばしたいことや学び  
たいことが記入できるようにします。

（職場体験活動後）		記入日	年	月	日
職場体験活動	・体験活動の前に学びたかったことなどと比べて、実際の活動を振り返り、 具体的に記入することが大切です。 ・生徒自身が自分の言葉で体験活動を価値付けできるようにしましょう。				
職場体験活動で、楽しかったこと・うまくいかなかったこと					
職場	成功体験だけでなく、うまくいかなかった こと等も、今後の自分の成長につながる貴重 な経験であることを伝えます。	新し			
「働くこと」についての今の考え（体験を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか）					
・体験先にメッセージをいただく際には、事前（体験前）に依頼しておきましょう。 また、体験後のお礼の挨拶等の際には、あらためて丁寧な依頼が必要です。 ・メール等でメッセージをいただく方が先方の負担が少ないことも考えられます。 柔軟な対応が必要です。					

成功体験だけでなく、うまくいかなかった  
こと等も、今後の自分の成長につながる貴重  
な経験であることを伝えます。

事前・事後に「働くこと」について向き合  
うことで、生徒自身が自己の変容に気付くこ  
とができるようにします。

お世話になった方や保護者からのメッセージ					
先生からのメッセージ	・社会とのかかわりや人とのつながりが意識 できるようメッセージを記入します。 ・生徒の経験に基づく成長ポイントを見取り 記入することが大切です。 ・短いメッセージでかまいません。	メッセージを読んで考えたこと			

※ 本様式は例示であり、学校で活用している既存の様式があれば、そちらを活用してください。

# 学校行事等（〇〇について）

※体育祭、合唱コンクール、修学旅行等

(事前)	<p>・学校行事の意義を高め、生徒の成長につながるものとするには、事前指導が重要となります。</p> <p>・教師が生徒に対して、本学校行事においてどのような経験や成長をすることを願っているのか、どのような意義のある学習なのか、丁寧に伝えた上で、記入させましょう。</p> <p>・学校行事に関連する他のワークシートとの活用場面の整理が必要となります。</p> <p>○思いきって、従来のワークシートを本シートに集約する</p> <p>○詳細な場面ごとのワークシートの重要ポイントのみを抜粋したシートとして、本シートを次年度にも引き継ぐべき、まとめの1枚とする</p> <p>など、実態に合わせて検討してみましょう。</p>	日
〇〇での		
そう思っ		

目標を達成するために準備すること

学校行事の目的や自分の役割を考え、どのように行動するのかを記入することができるように、支援します。

(事後)	記入日 年 月 日
目標を達成するために、がんばったこと	
心に残っていること	
自分が成長したと思うこと	<p>学校行事での体験と実生活とを関連付けて、気付いたことや取り組みたいこと、思ったこと等、自分が成長したことを記入することができるようにします。</p>
今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたい	<p>体験での学びと日常生活の学びをつなぐことができるように、個人や集団での対話を行い記入させると良いでしょう。</p>
先生が	<p>・生徒の経験に基づく成長ポイントを見取り記入することが大切です。</p> <p>・学校での経験と社会をつなぎ、生徒の意識が高まるメッセージを送りましょう。</p> <p>・短いメッセージでかまいません。</p> <p>メッセージを読んで考えたこと</p>